

## 検査前日から検査終了までの流れ（経鼻内視鏡）

### 1 検査前日

検査をより正確に行うために胃を空にしておく必要があります。夕食は普段より少なめとし、必ず午後9時までにお済ませ下さい。（消化の悪いものやワカメなど海藻類は避けて下さい。）それ以降は水、お茶、スポーツドリンクを飲んでもかまいませんが、固形物は摂らないで下さい。

### 2 検査当日

検査当日は、絶食・禁煙ですが、のどの渇きが強いは、コップ1杯程度の水なら飲んでいただいても結構です。普段、朝に服用している高血圧、不整脈、心臓、喘息の薬はいつも通り服用して下さい。

### 3 来院・受付

検査予約時間の10分前までに来院し、あらかじめサインしていただいた同意書を当日必ずお持ち下さい。また、検査直後は自動車の運転ができませんの自動車での来院は控えて下さい。

### 4 前処置（消泡剤を飲みます）



胃の中の泡を取りのぞき、胃の壁をきれいにするために、消泡剤（やや苦目の白い液体です）を飲みます。

※これは口からの胃内視鏡検査の場合も同じです。

### 5 前処置（鼻腔に局所血管収縮剤をスプレーします）



鼻腔粘膜の血管を収縮させます。出血しにくくするだけでなく、鼻のとおりもよくするために行います。スプレーは風がシュッと入るような感じで、ほとんど痛みはありません。

### 6 前処置（鼻腔に麻酔薬を注入、局所麻酔を行います）



小さな注射器型の注入器で鼻腔に麻酔薬を注入します。局所麻酔ですから眠くなりません。

### 7 前処置（麻酔薬を塗ったチューブを挿入します）



細くて柔らかいチューブにゼリー状の麻酔薬を塗り、鼻腔に挿入します。鼻腔の痛みが抑えられ、内視鏡の通過がスムーズになります。内視鏡と同じ太さのチューブを使うことが多く、この段階で、実際の内視鏡の挿入感をイメージしていただけます。

## 8 挿入（鼻からゆっくり内視鏡を挿入します）



内視鏡を挿入する前に胃の動きを抑える注射を行います。前処置を行った側へ内視鏡を挿入します。この時、違和感はあるものの、ほとんど痛みを感じることはありません。

※病状や内視鏡所見に応じて、組織採取・ピロリ菌検査を行います。

## 9 観察（胃の中を観察します）



食道、胃、十二指腸の順に観察していきます。モニターを見て、自分の目でもその様子を確認することができます。先生に質問もできます。

## 10 検査が終わったら



内視鏡検査の画像を見ながら医師が結果を説明いたします。約30分～60分で水も飲めますし、食事もできます。原則として眠くなる麻酔を注射しないので、すぐに帰宅できます。

※検査後30分は鼻をかむと出血することがありますので、拭くだけにして下さい。